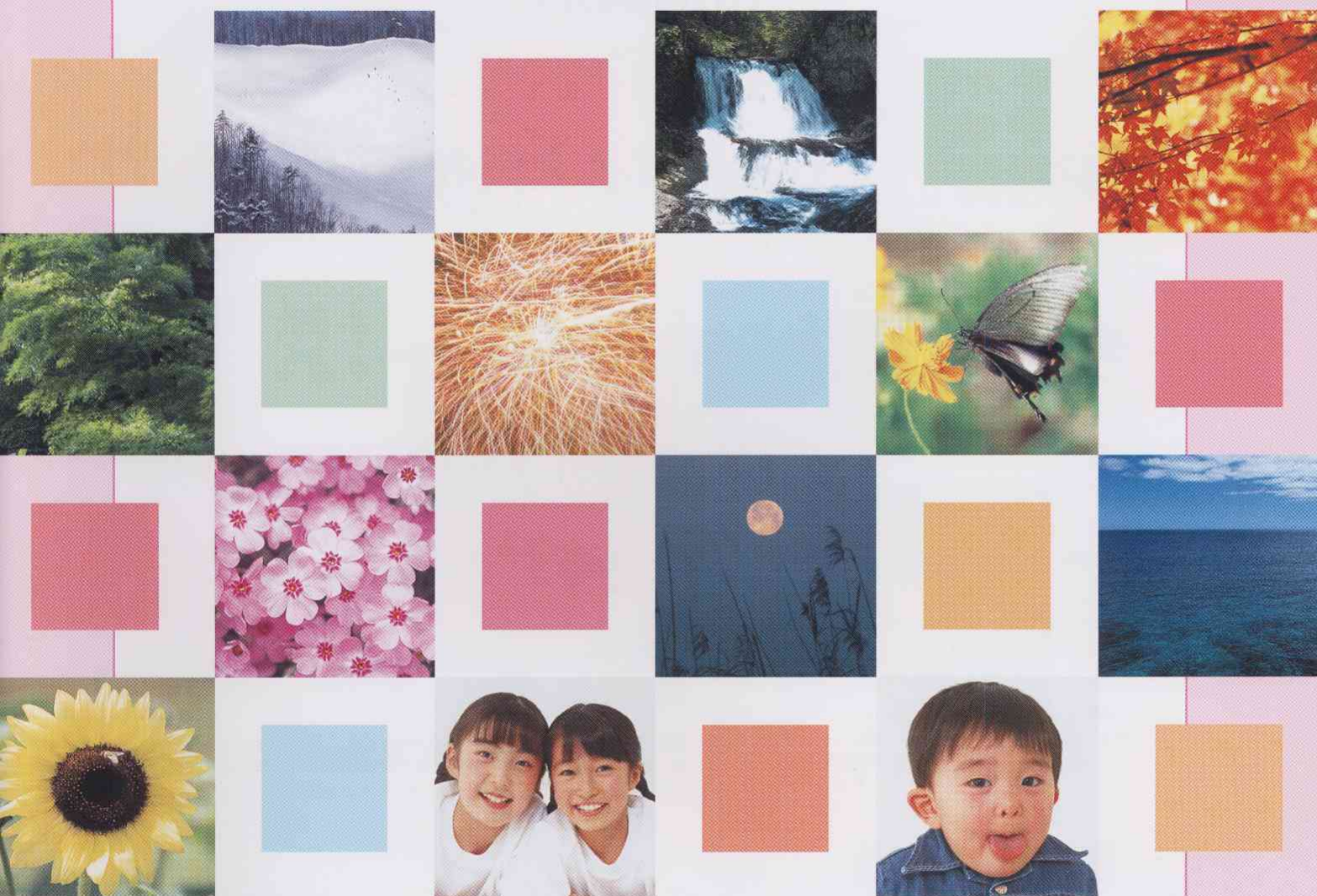


新潟県立看護大学 看護研究交流センター
生涯学習・研修支援事業

平成19年度



 **新潟県立看護大学**
Niigata College of Nursing
看護研究交流センター
Niigata Research Institute of Nursing



新潟県立看護大学
看護研究交流センター
特別講演

—講演テーマ— 「看護政策と大学教育の将来」

講師 (ひさつね せつこ)
久常 節子 氏
現職：日本看護協会会長



平成19年
期日 **7月14日(土)**

会場 **新潟県立看護大学**

プログラム

講演 ● 14:00～16:00 受講料:無料

参加ご希望の方は、電話、FAX、e-mailのいずれかで、氏名、自宅住所、勤務先、連絡先電話番号をお知らせください。申し込み締め切日は平成19年6月15日(金)です。受講料は無料です。

—講演の概要—

私たちはいい看護を提供して病む人や産む人そして予防のために役に立ちたいと思っている。しかし、いい看護を提供したいといくら願っても患者あたりの看護の配置が少なければ具体化できない。理想を描いて臨床の場へ就職しても自分たちが教育された力と現場が必要とする力があまりにも離れていると働き続けることができない。こうした一人の看護職の熱意や努力では解決できない課題に協会としていかに取り組もうとしているか話したい。



—講演テーマ—

大災害と国際医療支援の実際

—チェルノブイリ原発事故時の医療支援活動の経験から—

平成19年

期日

10月12日(金)

会場

新潟県立看護大学

(すげのや

あきら)

講師

菅谷

昭氏

現職：長野県松本市長

プログラム

講演 ● 13:30～15:30



講師略歴

講師略歴

昭和18年11月22日生

信州大学医学部卒業 医学博士

聖路加国際病院でレジデント後、信州大学第二外科勤務。

信州大学第二外科助教授を経て、チェルノブイリ原発事故後の平成8年

より、5年半、ベラルーシ共和国で医療支援活動を行う。この様子は、

平成16年、NHK「プロジェクトX」で紹介された。また、この医療貢献

に対し、平成12年、フランススコ・スカリナー勲章を授与された。

帰国後、長野県県庁衛生部長として平成16年2月まで勤務し、同年3

月、松本市長に就任。現在に至る。

■著書に「チェルノブイリ診療記」、「チェルノブイリのいのちの記録」
(いずれも晶文社)、「はくとチェルノブイリのこどもたちの5年間」
(ポプラ社)、「真っ当な生き方のススメ」(岳陽舎)がある。

—講演の概要—

世界各国で、大災害が起きています。人道的立場から、救助に行きたいと考えてもなかなかその機会がないと思います。新潟県も原発がありますので、常に災害時の対応を考えていなくてはなりません。今回、実際に原発事故後の医療支援に赴いた菅谷先生の経験を伺う中から、個人個人どんな援助が求められるのか、何ができるのか、一緒に考えてみませんか。

*参加ご希望の方は、電話、FAX、e-mailのいずれかで、氏名、自宅住所、勤務先、連絡先電話番号をお知らせください。申し込み締め切日は平成19年9月7日(金)です。受講料は無料です。

*なお、この講座は、本学看護学部「国際看護活動論」の授業の一部であり、本学学生のほか、新潟県臨地実習指導者養成講習会研修者にも公開します。

魅惑のスローライフ・スローエイジング

男女ともに“人生80年”ということがほぼ可能となった今日、第一線を退いた後の20年余を健康で明るく健やかに生きることが誰もの願いであると思います。このスクールでは、より健康で活力のある毎日を手にするためのからだ作り、あたま作り、そして病気予防や介護予防などに関する知識と戦略について、ともに学びたいと考えています。

受講料は無料です

会場：新潟県立看護大学

開催日時	テーマ	講師	講義内容
第1回 9月8日(土) 13:30～15:30	あなたが主役、五感を生かすスローライフ・スローエイジング	吉山 直樹 (よしやま なおき) 新潟県立看護大学 教授	若々しい身体は毎日の活発な生活活動と運動で、実現可能です。柔軟な感受性の維持には脳の訓練が必要とされています。これに大切なのは視覚・聴覚・味覚・嗅覚・触覚のすべてに許される限りの「気持ちよさ＝快楽」を体験させることです。そうすると自然と気持ちが沸き立ち、無意識に身体がリズムカルに動かせます。もうこうなればピンピンコロリも夢ではない、さようなら「老化」です。
第2回 9月15日(土) 13:30～15:30	膝にいいことをしましょう ー変形性膝関節症対策	中野 正春 (なかの まさはる) 新潟県立看護大学 教授	ご年配の特に女性に多い整形外科の病気の一つに変形性膝関節症があります。膝の痛みはもとより、膝に水がたまったり、関節の動きが悪くなり正座ができなくなったりといろいろな症状が出てきます。変形性膝関節症とはどのようなものか、少しでも症状が改善できるように行おうべきことをお話したいと思います。
第3回 9月22日(土) 13:30～15:30	情報化社会の暮らしかた	村上 肇 (むらかみ はじめ) 新潟工科大学 情報電子工学科教授	普段の暮らしの中で、コンピューターの姿や役割は、目に見えたり見えなかったりします。でも、コンピューターなしには今の生活は成り立ちません。そんな長寿社会と「情報化」の関わりを、「そもそも「情報」って何？」という入口からはじめて、情報化社会の身近なお話、そして将来あるべき姿までを、皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。
第4回 9月29日(土) 13:30～15:30	唾液成分と口腔保健のまめ知識	斉藤 英一 (さいとう えいいち) 新潟工科大学 物質生物システム 工学科教授	唾液は口腔の健康や全身の健康を保つための成分を含む液体です。それは会話、摂食、咀嚼、嚥下などに必須の体液であるばかりではなく、口腔疾患の予防といった役割も果たしています。ヒトの唾液は口腔に侵入する微生物に対しても多様な抗菌成分で対抗し、全身的な健康維持に貢献しています。最近のバイオサイエンス・バイオテクノロジーの進歩には目覚ましいものがあります。その進歩は唾液研究の分野においても例外ではありません。 本講演では「長寿社会のための口腔保健をめざす唾液研究の展開」を紹介します。
第5回 10月6日(土) 13:30～15:30	多様な担い手の連携による市民まちづくりの展望	田口 太郎 (たぐち たろう) 新潟工科大学 建築学科准教授	いわゆる「団塊の世代」が定年を迎え、これまでの「人口ピラミッド」は「人口逆ピラミッド」へと変化しています。しかし一方で、大変元気なお年寄りが増えていることも事実です。これからの時代では、こうした元気な「お年寄り」とも言えない高齢世代が新しい地域社会の担い手として地域全体を盛り上げていくことが重要です。 この講義では、さまざまな担い手が手を取り合って地域社会を盛り上げていく仕組みについて、実例を交えながらお話したいと思います。
第6回 10月13日(土) 13:30～15:30	年をとるのはイヤですか？ ー老い、病むからだ と向き合って生きる 人々から学ぶもの	粟生田友子 (あおうだ ともこ) 新潟県立看護大学 教授	年をとるのは嫌ですか？年をとると健康感自体が日々変化してきます。暗く生きることは簡単ですが、年を重ねてなお、素敵に生きられる人もいます。 年をとっていくこと、いろいろな病を抱えて生きることの意味は人によって違います。脳卒中後遺症をもつ人々や人生途中で視力を失った人々の体験から、年をとることの意味や人生の縮みなおしをできる時間を、少しのあいだ共有してみたいと思います。

*参加ご希望の方は、電話、FAX、e-mailのいずれかで、事前申し込みをしてください。氏名、年齢、性別、電話番号、住所、参加人数をお知らせください。定員は50名で、申し込み期間は平成19年6月4日(月)～平成19年8月10日(金)までです。5回全て参加可能な方を優先し、申し込み順に受け付けます。70歳以上の方大歓迎です。

認知症サポーター100万人キャラバン

「第2回キャラバン・メイト養成講座」

～新潟県立看護大学・上越市の共同事業～

認知症の人が尊厳をもって地域で暮らし続けるには、それを支える「地域づくり」に向けて、地域の方々、職域や学校、その他団体など幅広く理解者や支援者（認知症サポーター）の輪を築くことが重要です。この講座では、認知症に関する正しい知識や対処の方法を理解し、人々に伝えることを通してわがまちの認知症サポーターの輪づくりに活躍できるキャラバン・メイトの養成を目指しています。

受講料は無料です

会場：新潟県立看護大学

開催日時	テーマ	講師	講義内容
第1回 平成19年 10月20日(土) 13:30～15:30	<ul style="list-style-type: none"> 認知症の人を支えるとは 認知症サポーター100万人キャラバンとは 上越市の認知症ケアの取り組み 	中島 紀恵子 (なかじま きえこ) 新潟県立看護大学学長 上越市職員	認知症サポーター100万人キャラバンメイトの事業の趣旨や認知症の人への支援のあり方及び自治体としての事業の位置づけやこれまでの取り組みについて理解します。
第2回 平成19年 10月27日(土) 13:30～15:30	認知症の人の理解	北川 公子 (きたがわ きみこ) 新潟県立看護大学 教授	認知症とはどのような病気なのか、認知症の人のケアの方法や介護している家族をどう支援したらいいのかを考え理解します。
第3回 平成19年 11月17日(土) 13:30～16:00	グループワーク：認知症の人を支える仕組み	キャラバンメイト 連絡協議会 職員（予定） 上越市職員	<ul style="list-style-type: none"> まちや職域において自分ならどのような支援ができるだろうか。 認知症の人助けになる地域の社会資源やネットワークについて、上越市の実情に即し、みんなで考えます。
第4回 平成19年 12月1日(土) 13:30～15:30	認知症の基礎知識：症状、診断、治療	今井 幸充 (いまい ゆきみち) 日本社会事業大学 大学院・教授	認知症の種類、診断、および治療について、最新の研究動向もふまえてわかりやすく解説します。
第5回 平成19年 12月8日(土) 13:30～15:30	地域の健康づくり—介護予防の視点から—	安村 誠司 (やすむら せいじ) 福島県立医科大学 医学部・教授	介護予防には生活習慣病や認知症を学ぶだけでは不十分です。身体、心理、社会・環境など、生活全体から地域の健康を見直してみる必要があります。この対応・対策は何か？一緒に考えてみましょう。

*本講座では、認知症に関する基本的な知識や介護経験のある方、あるいは認知症ケアやボランティアに関心をお持ちの方のうち、上記の講習すべてにご参加いただける方からの積極的なお申込みをお待ちしています。定員は70名。お申し込みは新潟県立看護大学教務課又は上越市高齢福祉課。申し込み期間は平成19年7月2日(月)～平成19年8月31日(金)までです。多数の場合は先着順とします。電話、FAX、e-mailのいずれかで、氏名、連絡先住所と電話番号をお知らせください。

看護英会話セミナー

医療現場では、英語でコミュニケーションを行う機会が増えているのではないのでしょうか。本講座では、そのような現状に対応できるように、初級から中級程度の英語を聞く・話す力を身に付けるための講座をプログラムしてみました。外国人講師と会話を行う場も設けましたので、ぜひご参加ください。

受講料は無料です

会場：新潟県立看護大学

開催日時	講義概要	講師
平成19年 9月27日(木) 9月28日(金)	1日目 1限： 英語の聞く力 2限： 英語の話す力 3限： 外来での会話Ⅰ 4限： 外来での会話Ⅱ 2日目 1限： 外国人講師によるレッスンⅠ 2限： 外国人講師によるレッスンⅡ 3限： 外国人講師との会話Ⅰ (個人&グループレッスン) 4限： 外国人講師との会話Ⅰ (個人&グループレッスン) (両日とも参加者の人数によって内容が変わる場合がありますので御了承下さい。)	中村 博生 (なかむら ひろき) 新潟県立看護大学 准教授 山本 淳子 (やまもと じゅんこ) 新潟県立看護大学 講師 外国人講師
日程 1限 10:00～11:00 2限 11:10～12:10 3限 13:00～14:00 4限 14:00～15:10		

*参加ご希望の方(県内看護職者)は、電話、FAX、e-mailのいずれかで、氏名、自宅住所、勤務先、連絡先電話番号をお知らせください。定員は25名で、申し込み多数の場合は先着順とし、全日程参加可能な方が優先されます。申し込み期間は平成19年7月2日(月)～平成19年8月31日(金)までです。なお、昼食は各自でご用意ください。

看護情報処理セミナー

第1回：平成19年 9月27日(木)～28日(金)

第2回：平成19年10月 4日(木)～ 5日(金)

日常生活の中で利用する看護情報をより効果的に処理することを目的として、習熟の程度に応じて学習できるようプログラムしました。事前の学習は不要です。また、レベルは初級から中級を想定していますが、初心者の方も大歓迎です。

受講料は無料です

会場：新潟県立看護大学

開催日時	講義内容	講師
第1日 受付 10:00～ 開講式		
1限 10:30～11:50 昼食	Windows 基本操作	
2限 12:50～13:50	インターネットを使ったデータ収集	
3限 14:00～15:00	表計算の基本的な仕組み	
4限 15:10～16:10	統計分析とデータの見方と解釈	
第2日		
1限 10:00～11:00	より良いプレゼンテーションをめざして	
2限 11:10～12:10 昼食	構造型ワードプロセッシング	
3限 13:00～14:00	EXCELを使った統計的検定	
4限 14:10～15:30	総合学習	
閉講式		

橋本 明浩
(はしもと あきひろ)
新潟県立看護大学
准教授

*参加御希望の方(県内看護職者)は電話・FAXまたはe-mailのいずれかで、氏名、自宅住所、勤務先、連絡先電話番号をお知らせ下さい。定員は各回11名で、申し込み多数の場合は先着順とし、全日程参加可能な方が優先されます。

なお、第1回と第2回は同内容となりますので双方を受講することは出来ません。申し込み期間は平成19年7月2日(月)～平成19年8月31日(金)までです。

*昼食は各自で御準備下さい。

平成19年度 新潟県看護職員臨地実習指導者養成講習会

講習会の概要

各実習施設における臨床指導者を育成するコースです。約2ヶ月にわたり、教育とは何か、看護教育の基礎、実習指導方法について実際に実習を入れながら学びます。

日程:8月20日(月)～10月16日(火)

募集人数:50名(うち、本学実習施設枠10名)

*募集要項は各施設に配布しております。詳細は、本学事務局へお問い合わせ下さい。

受講料は無料です

専門職への公開授業(2講座)

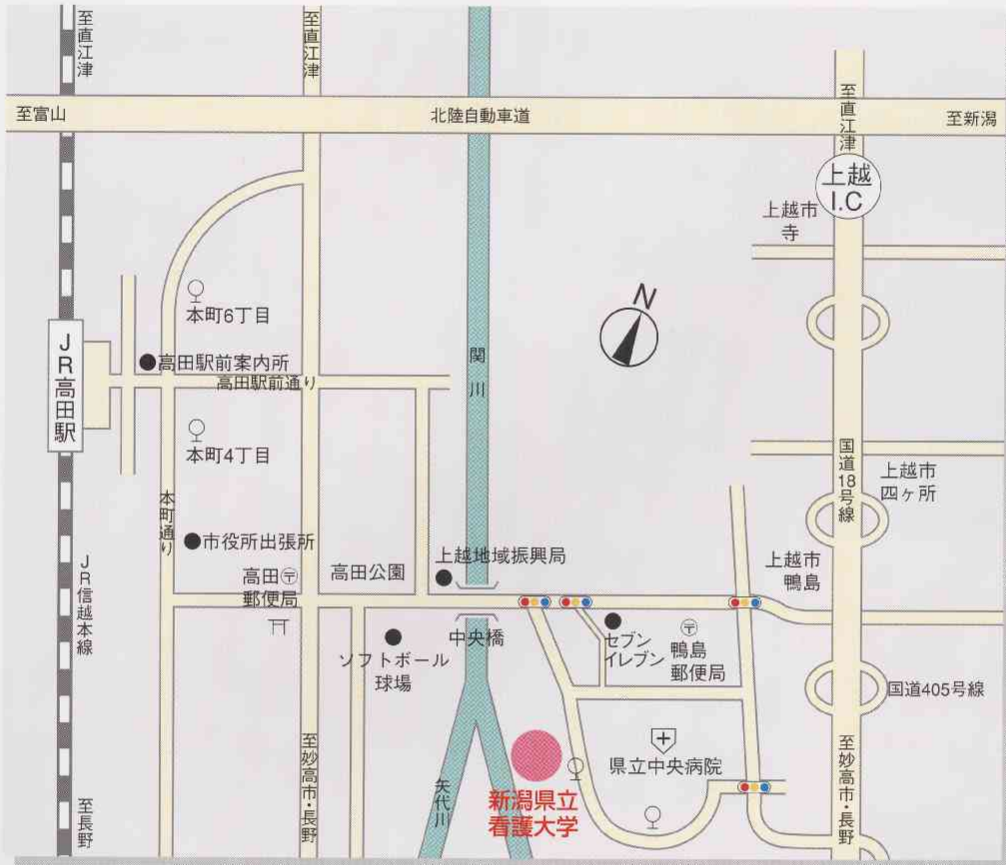
* 新潟県看護職員臨地実習指導者養成講習会の一部を看護専門職の方々に公開します。

会場：新潟県立看護大学

開催日時	テーマ	講師
平成19年 8月20日(月) 13:30～15:30	看護実践能力の充実に向けて	中島 紀恵子 (なかじま きえこ) 新潟県立看護大学学長
平成19年 10月16日(火) 13:30～15:30	新潟県の看護行政の動向	坪川 トモ子 (つぼかわ ともこ) 新潟県福祉保健部 福祉保健課看護介護 人材係

* 専門職への公開授業へ参加ご希望の方(県内看護職者)は、電話、FAX、e-mailのいずれかで、氏名、自宅住所、勤務先、連絡先電話番号をお知らせください。申し込み締め切日は各講座の1ヶ月前です。

アクセス・問い合わせ



新潟県立看護大学

看護学部 看護学科

住所／新潟県上越市新南町240番地
 問い合わせ先／〒943-0147 新潟県上越市新南町240番地
 新潟県立看護大学内 教務学生課 教務係
 TEL 025-526-2811 FAX 025-526-2815
 E-mail kyoumu@niigata-cn.ac.jp

企画・運営：看護研究交流センター 生涯学習・研修支援部会

※お知らせいただきました個人情報については、下記の目的以外には使用しません。
 ・本事業に関する連絡
 ・次年度のご案内

